



科学技術振興課長
いそざき とおる
磯崎 徹

ワンポイントメモ

90
きゅうじゅう

科学技術で産業振興に 取り組んでいます

◎ 科学技術振興課 [アルカディアプラザ]

科学技術振興課は、ホトニクス(光技術)バレー(谷)プロジェクト(計画)を進めることと、新技術の創出など科学技術の振興にかかわる業務を行っています。

ホトニクスバレープロジェクトとは、光科学技術をテーマとして研究開発に取り組み、最先端の光科学技術が集積する拠点づくりを目指すものです。

プロジェクトは、千歳科学技術大学と産(企業)・学(学校)・官(行政)が連携して進める研究などを支援する組織(ホトニクスワールドコンソーシアム)が中心となって進めています。

経済産業省や文部科学省の委託を受けて、特殊な光ファイバーや光電子素子の研究、小中学生をはじめとするインターネット学習システム「eラーニング」教材の開発・配信など、光関連技術の研究開発に取り組んでいます。

資源の乏しい日本では、科学技術の振興による新製品・新技術の開発がますます重要となっています。市は、千歳発の新製品・新技術の創出に向けてホトニクスバレープロジェクトを進め、産業の振興に努めています。

【お問い合わせは】
科学技術振興係
☎(42)0523

【ホームページ】
市ホームページの「市役所の組織」でご覧になれます

『声のラン』～声の「花」を咲かせましょう！

道の駅を活性化して さい！

声②

恵庭や苫小牧など近隣のまちでは道の駅がにぎわっていると聞きます。

千歳にも道の駅がありますが、近隣のまちと比較して施設が貧弱に思います。
道の駅を魅力ある施設として活性化してください。

お答え②

道の駅サーモンパーク千歳は、平成16年に道内85番目の道の

駅として登録されました。

現在は年間で約65万人の方が利用し、特に、サケがそ上する9、10月には約10万人の方が訪れます。

インディアン水車や千歳川の河川風景を活用し、平成6年に整備したサーモンパークを道の駅としてオープンしたため、トイレなどの施設には老朽化が目立ち始めていま

す。市民の皆さんから施設の改善や充実を求める声をいただいています。

市は、道の駅の機能を充実させるため、平成23年度から始まる新しいまちづくりの基
本方針となる第6期総合計画で「集客力のある道の駅サーモンパーク千歳の整備」を
かけています。

市民の憩いの場として、また、たくさんのお客様にぎわう場として道の駅を再整備し、市街地区のさらなる魅力づくりを進めます。

具体的な内容は今後、広報などでお知らせします。

観光振興課観光事業係
☎(24)0366

市の組織には、90種類の課(セクション)があります。(平成22年4月1日現在、派遣職員は所属を除く)皆さんは、市役所がどのような「しごと」をしているのかご存じですか？

市民サービスセンター で取れる証明書は？

千歳駅市民サービスセンター(ペウレ千歳2階)では住民票や印鑑証明、戸籍謄抄本、所得証明などの税関係の証明書を取ることができます。開所時間は平日が8時45分～19時、土日祝日は8時45分～17時15分です。なお、平日の17時15分以降と土日祝日は予約が必要なものもありますので事前にご確認ください。また、市税や国民健康保険料などの納付、市立図書館の本を予約して受け取ることもできます。

【詳細】市民課市民係 ☎(24)0264



【ワンポイントメモ】

道の駅サーモンパーク千歳では、冬もたくさんの方に利用いただくため、ちびっ子雪ランド in サケふるを開催しています。長さ40メートルの雪の滑り台やカーリング体験、週末限定で行う各種行事でお楽しみください。

案内

「いまさら、なかなか聞けないわ」ということはありませんか？
小さなことでも、正しく理解していただくために、「イマハナ」コーナーでは、皆さんのささやかな疑問にお答えします。